

平成26年7月18日

視察報告書

八街市議会議長 林 修三 様

会派 公明党
代表 新宅 雅子

政務調査費による行政視察を行いましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日時 平成26年 7月 2日(水)～ 7月4日(金)

2. 視察地及び視察内容

日程	視察地	視察内容
7月 2日(水)	青森県つがる市	① つがる市、胃ガン撲滅検診事業について
7月 3日(木)	青森県五所川原市	①五所川原市6次産業推進事業について
7月 4日(金)	青森県青森市	①青森市内、施設「ゆとりと憩い、市民広場」、パサージュ広場の視察

3. 参加者

鯨井 眞佐子 新宅 雅子
川上 雄次 服部 雅恵

○ 主な、視察内容等

1, つがる市「胃ガン撲滅検診事業」について

つがる市は旧木造町、旧森田村、旧柏村、旧稲垣村、旧車力村が平成17年に合併して誕生した、青森県9番目の市とのことでした。面積は253.85平方kmと本市とくらべて広大な面積を有しています。青森県域の約2.6%を占めており、土地利用は、農地56.0%、宅地4.5%、山林13.7%、その他25.8%で農業が中心の市でした。

つがる市では、健康な胃をとりもどそうと、ピロリ菌の検査と除菌に力を入れて推進していました。

【つがる市胃がん撲滅検診事業】は、平成24年度から平成28年度までの5年間、ピロリ菌感染による胃がんの予防を目的として、ピロリ菌感染検査と除菌治療の費用を全額助成（無料）で実施する、先進的な事業を行っており、これには、過疎対策事業債を基金にして、胃がん撲滅検診事業に要する経費の財源に充てていました。

また、胃がん撲滅検診事業は「つがる市診療所」と「弘前大学医学部」積極的に協力しており、行政と医療機関の共同事業での実施で、全国的に高い、つがる市のガン死亡率とピロリ菌感染率を減少させる事で、将来的な医療費の削減めざして行っていました。

2, 五所川原市6次産業推進事業について

五所川原市では、新たな産業の育成に向けては、第1次産業の高付加価値化や農産物のブランド化、販路拡大などを支援する為、「産学官連携による農業の六次産業化モデル事業」に取り組んでいました。

行政と県立五所川原農林高校、民間の日立製作所の協力の下で、

「五所川原市6次産業推進協議会」を立ち上げ、生産者と消費者をITでつなげることで、双方からの情報発信機能の強化、コミュニティ活動の推進、農業と地域の活性化を推進していました。

その多彩な取り組みの一つの、五所川原農林高校のマイファームセンターを訪問し、水田・野菜圃場でのWebカメラ、気象センサー類、通信機器の設置状況、や実証試験、特産品開発や農業文化論、世界農業遺産登録への取り組みなど、大変参考になる取り組みを視察して来ました。

3、青森市「ゆとりと憩い、市民広場」、パサージュ広場について

青森市が運営を委託している。パサージュ広場を見学しました。「パサージュ」とはフランス語で「小径(こみち)」を意味しており、車がなく、人が安心してまち歩きを楽しめる商業限界や、若い人・意欲のある人たちが商売を始められる面白いストリートや「ひろば」を作り事を目的にして設置されていました。

青森市が平成12年度この構想の具体化に向けて、青森駅近くに多目的広場「パサージュ広場」を整備し、中心市街地活性化に向けて取り組んでいました。

「パサージュ広場」には、まちのシンボルとなる大木(ドイツトウヒ・樹高8m)や通路などの融雪施設、ベンチなどが配置され、広く市民の交流の場として利用されていました。

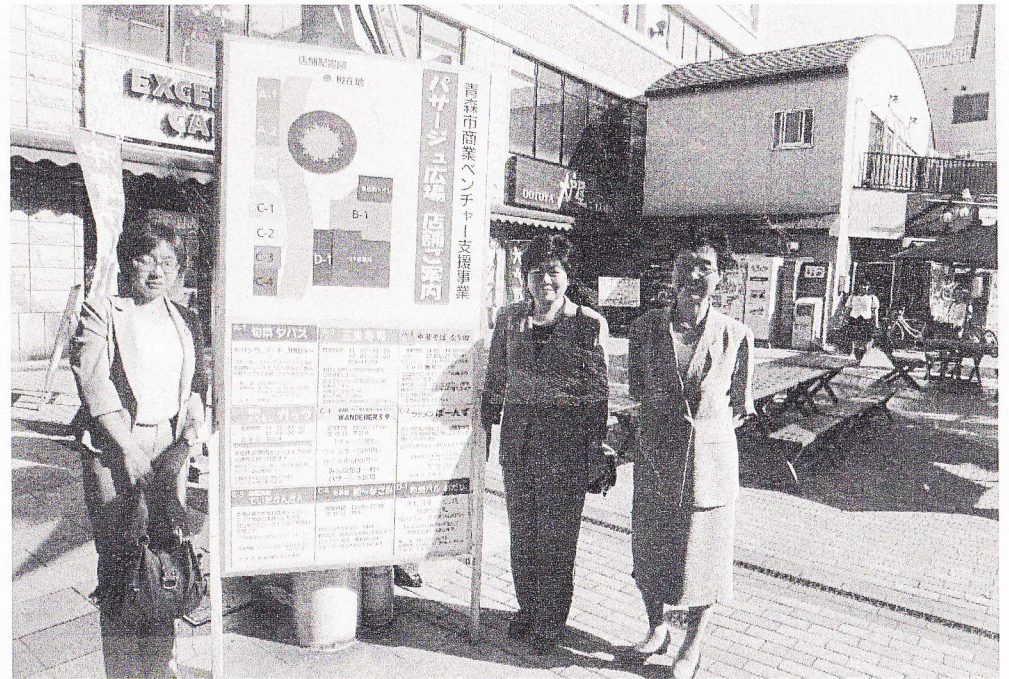
青森市では、商業ベンチャー支援事業として、商業者の育成の場所として「パサージュ広場」内、実験店舗への出店についても力を入れていました。

添付資料

- ① 視察写真
- ② 視察資料



つがる市 胃がん検診について学歴。



五所川農林高校にて

